地域産業連携拠点施設の愛称は「いちご分校」に決定しました！

地域産業連携拠点施設が親しみと愛着を持って利用していただけるように愛称を募集したところ、広く道内外から117件の応募があり、選考の結果、愛称は「いちご分校」に決定しました。

【愛　称】「いちご分校」

【応募者】　高野　信夫さん（栃木県宇都宮市）

提案者の高野さんからは、「名称で旧大岸小学校鉱山分校を改修した『豊浦いちご』の研修施設であることを表現。また、いちごは一期一会につながり出会いが生まれる『交流施設』の意味も含めました。さらに、いちご＝１・５を足すと６（次）で『加工販売施設』のイメージも表現しています」との理由で提案をいただきました。

選考理由は、「豊浦いちご」メインの研修施設であることや、元々は旧大岸小学校鉱山分校であることを表現する「分校」というキーワードが入っており、地域の歴史も感じさせることから選定いたしました。

▲地域産業連携拠点施設「いちご分校」

いちご分校の加工販売施設の使用公募について

いちご分校は、地方創生事業を活用し、旧大岸小学校鉱山分校を改修した施設で、「農業研修施設」「加工販売施設」「交流施設」で構成されています。

「加工販売施設」は、加工室を活用した豊浦町産の農産物等を使用した加工品の製造活動や、フリースペースを活用した豊浦町産の農産物等を使用した加工品の販売活動を行う施設であり、豊浦町産の農産物等を活用した6次産業化を目指す方が使用できます。

この「加工販売施設」について、令和2年度において月単位や年単位など、ある程度長期間にわたって使用を希望される方を公募することとしました。

【公募内容】

①月間もしくは年間使用計画
②何を加工、販売するのか等、具体的な内容
③将来的な加工、販売のイメージ
④使用を希望される方の氏名、住所、連絡先
※公募用紙は任意のもので構いません。

【公募方法】

①役場産業観光課へ直接提出
②ファックスで提出（FAX 83－2129）
③電子メールで提出
（nousei@town.hokkaido-toyoura.lg.jp）

【公募期限】３月２日（月）必着

【使用開始】４月１日（水）から

【加工機材】ガステーブル、ガスオーブン、食品乾燥機、食品粉砕機、冷凍冷蔵庫、その他調理器具一式

【使用料金】

区分／室名	昼間	夜間	月額
	１単位	１単位	
フリースペース	200円	300円	5,000円
加工室	200円	300円	5,000円

※昼間は午前８時から午後４時まで、夜間は午後４時から午後11時までとなっており、１単位は４時間です。
※水道光熱費については、長期使用の場合、実費をいただきます。

問　産業観光課 農林係　☎83－1410